

大阪府生活協同組合連合会

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内
tel.06-6762-7220 fax.06-6762-7296
URL : <http://osaka-union.coop/>

会報

KAI-HOU

No.381
2026.3.16



2026年新年講演会

[開催報告]	2025年度第4回理事会	1
[開催報告]	能登半島地震被災者支援ボランティアバス	2
[開催報告]	2026年新年講演会	5
[開催報告]	第33回ワン・ワールド・フェスティバル	7
[開催報告]	2025年度防災・減災企画	8
[開催報告]	令和7年度大阪府消費生活協同組合優良役職員表彰	11
[開催報告]	令和7年度大和川・石川クリーン作戦	16
[連載]	会員生協の取り組み紹介	
	「大阪よどがわ市民生協」「コープ自然派おおさか」	17
[連載]	「サラダボウル～ひとりひとりが輝いて」	19
[スケジュール]		21

大阪府生協連 2025年度第4回理事会議事録

I. 日 時 2026年1月15日(木)

13時00分～13時35分

II. 場 所 都シティ大阪天王寺

5階 信貴の間

III. 出席者

(1) 理事(総数23名中、18名出席、5名欠席)

- 会長理事 大江桂子
- 副会長理事 柴橋圭介、勝山暢夫
- 専務理事 中村夏美
- 常任理事 石原淳、金津正明、田邊新庫、谷川英子(13:15審議事項1より出席)藤井貴浩、森本秀友
- 理事 桐田剛至、久保幸雄、窪田亜紀、小野田郁子、椿原雅子、西田紀子、松田忍、藪内剛
(欠席:羽多野宏子、今口朋、木下高志、中川恵、山田大輔)

(2) 監事(総数3名中、1名出席、2名欠席)

- 監事 榎田裕士
(欠席:鷲嶺奈緒子、山口雄司)

(3) 陪席

- 事務局長 前田倫男

IV. 議長 大江会長理事

V. 議事の経過の要領との結果

定刻になり、中村専務理事より、総数の過半数の出席をみたので、理事会の議決要件を充足した旨を告げ、開会を宣した。

続いて、大江会長理事が議長として挨拶し、議事を進行した。

等について提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

2 2026年度年間日程(2次案)の件

前田事務局長より、2026年度年間日程(2次案)について、各役員の見集約を踏まえ、提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

報告事項

報告事項に関して下記の報告がされ、全員異議なく確認された。

なお、報告事項2.2026年核不拡散条約(NPT)再検討会議への代表者派遣に関して森本常任理事より補足報告があった。

報告事項	報告者
【大阪府生協連】 報告事項① 1. 能登半島地震支援活動 2. 2026年核不拡散条約(NPT)再検討会議への代表者派遣	前田 前田
報告事項② 1. 各委員会 (1) 健康チャレンジ実行委員会	前田
【会員及び友誼団体等】 2. 消費者支援機構関西(KC's) 3. 全大阪消費者団体連絡会 4. OCoNoMi おおさか	文書報告 文書報告 文書報告

審議事項

1 第64回通常総会の件

前田事務局長より、2025年度活動報告及び2026年度方針案について提案がされた。

討議の結果、提案通り、全員異議なく承認された。

なお、中村専務理事よりNPT派遣者による報告会の開催、勝山副会長理事より国際協同組合年の国連決議について補足説明がされた。柴橋副会長理事より生協として命と暮らしを守る使命において、世界の紛争に対しアピールすることも必要ではないかという意見が出された。

続いて、各分野別概況の原稿執筆を担当する理事

以上、すべての議事が終了したので、議長は13時35分閉会を宣した。

上記議事の経過要領及び結果を証するため本議事録を作成し、出席理事及び出席監事は全員記名押印する。

能登半島地震被災者支援ボランティアバス

- [日 程] 2025年12月19日(金)～12月20日(土)
[場 所] 石川県輪島市 輪島マリンタウン
[参 加] いずみ・パルコープ・きづがわ医療・北大阪医療(4会員生協)、
コープしが、滋賀県生協連、大阪府生協連 合計22名
[協 力] 「災害支援団体 TEAM B - DASH」「輪島復興支援団体リガール」

[開催概要]

12/19 (金)	23:00	集合: JR 大阪駅桜橋口から徒歩5分 桜橋西交差点周辺
	23:15	出発: 大型バス 阪神高速 福島IC → 北陸自動車道 → のと里山海道 (途中SAで2回休憩 黒丸SA、尼御前SA)
12/20 (土)	6:00	旧輪島駅着 朝食、トイレ休憩
	7:00	輪島市内被災状況視察
	8:30	輪島マリンタウン 炊き出し準備 (たこ焼き、焼きそば、パンケーキ)
	11:00	炊き出し活動 開始
	14:00	炊き出し活動 終了
	15:00	片付け含めて終了
	15:10	現地出発
	21:50	JR 大阪駅付近 到着 解散

[概 要]

- 今回は現地で活動されている支援団体「災害支援団体 TEAM B - DASH」及び「輪島復興支援団体リガール」の要請をうけ、輪島マリンタウンの「輪島祭」に参加。たこ焼き、焼きそばを販売(1食100円)し、パンケーキとクリスマスカードをプレゼントしました。会場では、晴天で少し暖かい中、もちつき大会や子どもが遊べる体験コーナー、また大学のブラスバンドの演奏や抽選会等、盛況に開催されました。販売は休憩をとる間もなく、たくさんの方に提供することができ、合計628食、62,800円となりました。最後に売上金は、両団体に寄付し、輪島市をあとにしました。

[感 想]

- 支援活動に参加させて頂き感じた事は、もしこのような支援活動が無かったら、被災者の方々は、自分達は見放されたと感じ、心の復興が全く進まない状況になるだろうという事です。様々な団体による支援活動が継続的に行われる事で、復興への展望に貢献できると実感しました。支援活動については、焼きそばやたこ焼きなどを提供させて頂きましたが、多くの地域住民の皆様にも食してもらおうことが出来て良かったです。
- 今回の能登の被災地支援ボランティアに初めて参加させていただき、ほぼ2年の月日が経とうとしていますが、まだ7000名以上の方が仮設住宅で生活されているという事実を知りました。また、炊き出しの近くの電柱が傾き、道路が地割れし、段差が出来たままの状況を見て、

これからも継続的な支援が必要であると感じました。

- まずは生協の枠を越えて、小さな点を結んで下さった府連に感謝です。お天気に恵まれた事と、大盛況で無事に終えて喜んで貰えた事で本当に良かったです。今回の様なフェスではお金を頂いたのは正解だと思います。金額の問題では無く、無料で配布は食べられない量を持ち帰ったりされますし、少額でも頂く事が大事だと感じました。また、参加者とたくさんお話出来ました。今後も、出来得る限りの協力や取り組みを行っていきたいです。
- 今回初めて、ボランティアという貴重な体験をさせていただきました。おそらく仮設住宅から来られたであろう杖を突いた恒例の女性や男性を見ましたが、みなさん、今回の催し、炊き出しを通じて笑顔になられていたので、参加して良かったと心から思いました。



輪島の元朝市場所を眺める参加者



参加団体による朝礼の様子



滋賀県生協連、コープしがさんには、焼きそばを担当していただきました



屋根のある屋外のたこ焼きですが、寒さを感じませんでした



たくさんの方に、たこ焼き、焼きそば、パンケーキを提供することができました





あらかじめボランティアの方々に作成してもらったクリスマスカード。現地の方に、喜んでいただきました



抽選会のステージの様子



参加者の集合写真

2026年新年講演会を開催しました

1月15日（木）、都シティ大阪天王寺「吉野の間」にて、2026年新年講演会を開催しました。当日は66名の参加がありました。今年の新年講演会は、福島大学食農学類の小山良太様（教授）を講師にお招きし、「福島県における原子力災害の現状と復興に向けて」をテーマにご講演いただきました。

震災15年目をむかえる福島県農業の課題について、震災10年日以降からの復興政策の転換、市場構造の変化、新しい産地形成の必要性を中心にお話をいただきました。放射性物質（セシウム）を吸収しない農産物の話しをはじめ、放射能測定と検査について可視化することや情報開示することが重要であり、そのことが福島の農業の復興につながることなど理解できました。最後に国内自給率の課題についてもお話をいただき、講演会を終えました。

〈参加者感想より抜粋〉

- 講演の中で印象に残ったのは、食品が市場に出るまでに何重もの検査や基準が設けられているという点であった。特に、福島県産の農産物は、厳しい基準で検査が行われていることを知り、食の安全は多くの人の努力によって支えられているのだと感じた。
- 放射線汚染に関するデータを地道に集め、嘘のない情報を公開していくことで、農業を含めた福島の復興に取り組んでくださっていることに感謝します。私の周りの人にも今日の講演でお聞きしたことを伝えていきます。
- 数字を元に、現在福島が抱える課題、さらには日本が抱えている課題についてわかりやすく教えていただきありがとうございました。特に印象に残ったことが、化学肥料の国内自給率の低さです。輸入依存の食料政策が従来から課題となっていますが、深刻な状況を改めて学ぶことができました。生活協同組合として、また消費者として考えるきっかけをいただきありがとうございました。
- 数値などの客観的根拠に基づく説明と、この間関わってこられたからこそその熱意に、講演内容を聞き入りました。もっと聞きたい、もっと知りたいと思います。また、第一次産業の政策的な課題提起もあり、プライベートで大学生の農耕ネットワークとご縁もあることから興味深く、国策としての介入の必要性も新たに知ることができ有意義な講演内容でした。参加させていただき、ありがとうございました。
- 小山先生のお話から、福島県の原子力被害15年前の実態と現状を知り得ることが出来ました。また、今後について新規農業への関心が高まりましたし、日本全体の農業と食糧事情についても、とても興味深いもので、震災の風化させないうえでも、先生のお話をもっとたくさんの方に聞いていただきたいなと思いました。



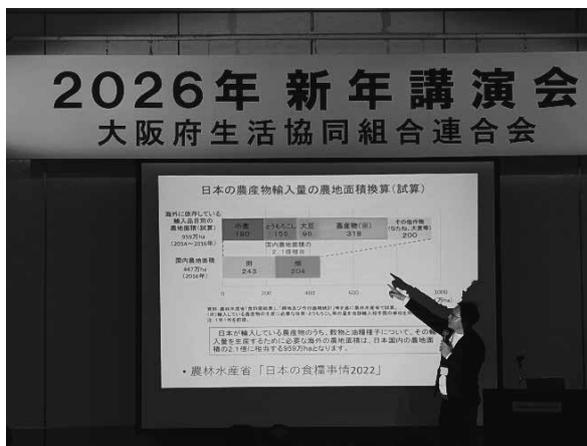
司会は大阪府生協連の小野田理事



開会挨拶は大阪府生協連の大江会長理事



講師の小山良太教授



数値など客観的根拠に基づき分かりやすく説明していただきました



会場の様子

第33回ワン・ワールド・フェスティバル に参加しました

西日本最大級の国際協力のイベント「第33回ワン・ワールド・フェスティバル」が、2月7日（土）・8日（日）に梅田スカイビルで開催され、2日間全体で2万2,000人の参加となりました。

大阪府生協連が参加する OCoNoMi おおさか（大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会）では、毎年参加し、今年はブースのみを出展しました。

ブースでは、1日目に OCoNoMi おおさか構成団体の SDGs 活動を紹介するクイズ、2日目に体験プログラムとして「VR 災害体験」「お米重量当て」「樹木樹齢当て」「模擬紙幣枚数当て」を実施しました。クイズと体験プログラムの参加者には、おおさかパルコープからご提供いただいた「CO・OP ビーフカレー」をはじめ、こくみん共済coop から「ウェットテッシュカバー」、NPO 法人大阪府海域美化安全協会から「海辺の生き物消しゴム」、JA 大阪中央会から「野菜消しゴム」と「えんぴつ」、近畿ろうきんから「レザーキーホルダー」など、参加賞としてプレゼントしました。ブースには2日間で約338人が立ち寄っていただき大盛況でした。



会場の様子



おおさかパルコープによるクイズ



JF 大阪府漁連によるクイズ



なにわフードバンクしっかり
食べによるクイズ



大阪府生協連によるクイズ



こくみん共済coopによる
「VR 災害体験」



JA 大阪中央会による
「お米重量当て」



大阪府森林組合による
「樹木樹齢当て」



近畿ろうきんによる
「模擬紙幣枚数当て」

2025年度防災・減災企画」を開催しました

2月12日（木）に、大阪府生協連の組織活動委員会主催による「2025年度防災・減災企画」を開催し、11会員生協から112名が参加しました。

最初に行ったミニ学習会では、こくみん共済coopの篠崎氏を講師に「もしも大地震が発生したら～あなたはその時どうする？～」と題して、クイズも交えながら、ご講演いただきました

次に、ブース学習を行いました。会員生協、取引先業者・団体による、防災のとりくみや体験企画、防災食の試食などのブース展示を6つのグループに分かれた参加者が順番に回っていきましました。防災食についての説明を聞きながら実際に試食もでき、味や種類の多さに驚いていました。また、ソーラークッカーの展示をはじめ、チラシ広告で食器を作ったり、VRで被災体験やパラコードによる「もやいむすび体験」など、体験企画も好評でした。

また、能登半島地震支援商品を販売し、61,000円の利用がありました。

限られた時間での学習企画でしたが、参加者からは「学習会、ブース体験と大変ためになり、今までの常識が変わりました」「友達にも教え、今後地域での活動にも活かしていきたいです」「試食することで、災害時の食の大切さを考えさせられました。家でもう一度備蓄品を見直そうと思います」などの声が寄せられました。

●2025年度防災・減災企画の概要

【日 時】 2026年2月12日（木）10時～12時

【場 所】 おおさかパルコープ 京橋事務所（本部）3階 集会室

【参 加】 11会員 計112名

【開催内容】 （1）開会 司会：岩城 江美子 氏

（大阪府生協連 組織活動委員会 委員 / 大阪よどがわ市民生協 理事）

（2）ミニ学習会「もしも大地震が発生したら

～あなたはその時どうする？～」

講師：篠崎 梨奈 氏

（組織活動委員会 委員 / こくみん共済coop 大阪推進本部）

（3）ブース学習

①おおさかパルコープ

・防災ごはん（デモンストレーションと試食）

→ポリ袋クッキング

→さばコーンおかかえ和え

→ドライパックサラダ

・紙による食器作り

②こくみん共済coop

・VR ゴーグル被災体験

-
- ・パラコードを使って「もやいむすび体験」
 - ③大阪きづがわ医療福祉生協
 - ・乳和食の試食（すこしおみそ汁）
 - ④NPO 法人 ECO ネットよどがわ
 - ・ソーラークッカーと自分発電機の展示
 - ⑤株式会社東洋水産
 - ・もずくスープとたまご粥の展示と試食
 - ⑥サタケフードビジネス株式会社
 - ・アルファ化米の展示と試食
 - ⑦株式会社コモ
 - ・クロワッサン等の展示と試食
 - ⑧ローリングストック商品の展示
 - ⑨能登支援商品の販売
- (4) アンケート入力
- (5) 閉会

●ミニ学習会における参加者の感想

- ・ガソリンスタンドが安全とは驚いた。またとっさの時に取る行動などとても分かりやすく学べました。回りの人にクイズしたいと思います。
- ・情報は常に新しくなっているので、定期的な学習は必要だと思います。
- ・短い時間で、緊急時で気をつけたい事をクイズも交えて、わかりやすく説明いただきました。
- ・今まで自分の中で常識と思っていたことが違っていて、説明を受けたら納得でした。学習会で学んだ事は広めたいです。

●ブース学習会における参加者の感想

- ・ポリ袋クッキングの方法、メニューを知り一度やってみようと思った。
- ・ポリ袋クッキングや乾物や缶詰もののクッキングはいろいろ試してみたい。地域で実際にクッキングをしたいと思います。子どもと一緒になど。
- ・ポリ袋は買って置いていますが、実際に作った事がないので作ってみたい。混ぜるだけクッキングも美味しくて普段のおかずにも良いです
- ・舟形の折紙はマスターして広めたい
- ・ゴミ袋で出来るポンチョは作って携帯しておけば、かさばらないけど役に立つと思いました。これも広めたいです。
- ・VR ゴーグルで地震、水害の自宅での様子がよくわかりました。
- ・もやい結びをサッとできるように日々練習あるのみ！
- ・パラコード、流されないように結び方を学んだ！
- ・きづがわ医療福祉生協 インスタント味噌汁にスキムミルクを入れたのを初めて飲みました味はほぼかわりなくカルシウム等が摂取出来て日頃からやってみたいですよ。

- アウトドアのグッズが防災にも使えるという事。試してみたいものがあった。
- お湯でないと美味しくないと考えていたが、水でも美味しかった。やはり試食は、大事。
- レトルトおかゆとフリーズドライスープを混ぜるとおかゆの水分でスープが戻り、味もついて美味しくなる事がわかった。
- アルファ米のローリングストックなど水で戻したりするのを食べ慣れるようにしておく事も必要。
- コモさんのパンをはじめ、災害用の特別な食品ではなく長期保存できる食品を買って順に食べて買い足しながら保存するのは合理的だと思いました。

[当日会場の様子]



会場の様子



司会は岩城さん



ミニ学習会

講師：こくみん共済coopの篠崎さん



おおさかパルコープ
防災ごはん



おおさかパルコープ
紙による食器作り



こくみん共済coop
VRゴーグル被災体験



こくみん共済coop
パラコード もやいむすび体験



大阪きつがわ医療福祉生協
乳和食の試食（すこしおみそ汁）



NPO法人ECO ネットよどがわ
ソーラークッカーと自分発電機の展示



株式会社東洋水産
もずくスープとたまご粥の展示と試食



サタケフードビジネス株式会社
アルファ化米の展示と試食



株式会社コモ
クロワッサン等の展示と試食

令和7年度大阪府消費生活協同組合 優良役職員知事表彰授与式が開催されました

2月24日（火）、今年度の「大阪府消費生活協同組合優良役職員知事表彰」の授与式が、今回初めてとなる大阪府公館の大サロンにて実施されました。

会員4生協からご推薦いただいた7名と、会員外の生協から2名が授賞されました。

各受賞者の生協の発展に寄与された功績に敬意を表しますとともに、皆様のますますのご活躍を期待します。

【会員生協の受賞者】

大阪いずみ市民生活協同組合	中野 隆之さん
大阪いずみ市民生活協同組合	大谷 英生さん
生活協同組合おおさかパルコープ	林 輝泰さん
生活協同組合おおさかパルコープ	山下 修二さん
大阪よどがわ市民生活協同組合	秋山 裕子さん
関西大学生生活協同組合	安原 瑞保さん
関西大学生生活協同組合	高橋 尚嗣さん



後列左から、大江会長、秋山さん（大阪よどがわ市民生協）、高橋さん・安原さん（関西大学生協）、
会員外生協の1名の受賞者、鹿野課長（大阪府男女参画・府民協働課）
前列左から、中野さん・大谷さん（大阪いずみ市民生協）、近藤次長（大阪府府民文化部）、
林さん・山下さん（おおさかパルコープ）

〈受賞者紹介および本人からのコメント〉



大阪いずみ市民生活協同組合
中野 隆之さん

この度は表彰を賜り、誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

間もなく定年を迎えるにあたり、微力ではございましたが、生協の発展に少しでもお役に立てたことを、大変光栄に思っております。

この成果は、諸先輩方をはじめ、関係各位や皆様のご支援とご協力があったからこそ実現したものです。改めて深く御礼申し上げます。

現在の日本経済は、物価高やインフレの状況が進む中、生協事業の運営は重大な局面を迎えております。どのような状況でも、生協が安定的に事業を継続していけるよう、引き続き尽力してまいります。

最後に、これまでお世話になりました組合員の皆様にも、心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。



大阪いずみ市民生活協同組合
大谷 英生さん

このたびは誠にありがとうございます。優良役職員表彰と聞き大変驚いています。

私が何とかこの仕事を続けられたのは、組合員の皆さん、職場の皆さん、そして家族の支えがあったからです。私が何かしたわけではなく、この三十余年の間に関わっていただいた皆さんが現在の私を作ってくれたと思っています。これまで関わっていただいた皆さんに感謝申し上げます。

私がこの仕事を続けてきてよかったと思うことは「人にお役立ちできる仕事」だと実感できることです。以前は配送現場で、今は組合員活動の現場で、変わらずそのことを実感し、やりがいに繋がっています。

これからもお世話になっている皆さんのお役に立てるように精一杯頑張っております。



生活協同組合おおさかパルコープ
林 輝泰さん

この度は、優良役職員表彰をいただき、ありがとうございます。

共同購入の地域担当者から始まり、多くの組合員さんと先輩方と共に働いて、協同組合の運動と事業を実践的に学ぶことができました。

生協人生45年間の中で、約15年間、3つの友誼団体への出向経験は、私にとって代え難いものとなりました。

特に2011年の「東日本大震災」発災直後から復旧・復興支援の現地スタッフとして、生協のバックアップのもと7年近く派遣して頂きました。被災者の方々との出会い、全国から駆けつけてくれたボランティア、そして後方支援をされた遠野市の皆さんとの活動・生活は、何物にも代えることができないことでした。被災地で体感したことは、これからも地域社会に活かしていきたいと思っています。



生活協同組合おおさかパルコープ
山下 修二さん

このたびは、このような賞を頂き、心より感謝申し上げます。私は1980年に入協し、配送センター、物流センター、関連会社、本部と全部で14の部署を経験させて頂き、今は再雇用という形で商品検査室に勤務しております。

生協人生を振り返り運にも恵まれましたが、良き上司や同僚などの支えで今まで続けてこられたと感じております。特に新人のころ強く感じましたが、組合員からたくさん励ましの声を頂き、「気にして頂いている事」に感動し、私の生協への情熱の柱となりました。本当感謝しております。

引き続き生協が、組合員・職員・取引先様の全てが幸せになれる組織を目指し頑張っていけたらと思っています。ありがとうございました。



大阪よどがわ市民生活協同組合
秋山 裕子さん

この度は、優良役職員知事表彰を賜り、誠にありがとうございます。
よどがわ市民生協に入協して以来、さまざまな部署での勤務や他生協への出向など、多くの経験を重ねる中で、あっという間の44年間でした。

特に、生協商品の安全確認に関わる商品検査や品質管理業務、そして機関運営に長く携わる中で、組合員、産地・お取引先の皆さまとの関わりを通じ、学びと成長の機会を数多くいただきました。また、これまで共に働き、支えてくださった職場の皆さんのお力添えがあってこそその受賞だと思っております。

改めて感謝申し上げます。

これからも、地域における生協の発展に微力ながら尽力してまいります。ありがとうございました。



関西大学生生活協同組合
安原 瑞保さん

この度はこのような素晴らしい賞をいただき心より御礼申し上げます。

母校である関西大学の中で卒業後も働くことができると喜んでいましたが、その後すぐに社会の厳しい壁にぶち当たり打ちのめされました。厳しくも愛あふれる指導と、同僚、諸先輩方との、笑ったり泣いたり怒ったりの日々を昨日の事のように思い出します。

仕事を通じて、人とのつながりの温かさ、仕事の喜び、生き方までも、身をもって教えていただき、今日までの長きにわたり勤務を続ける事が出来ました。

引き続き学生組合員の生活を支えるという使命を胸に、そして職員の皆様にも恩返しできるよう努めてまいります。ありがとうございました。



関西大学生生活協同組合

高橋 尚嗣さん

入職して30年目を迎える節目にこのような知事表彰を賜り誠にありがとうございます。
振り返れば、食堂に配属された当初は何も分からず、先輩方に支えていただきながら一つひとつ学んでいく毎日でした。

その後、総務へ異動してからも変わらず周囲の皆さまに助けをいただき今日まで務めることができました。

なかでも、日々の現場を支えてくださるパート職員の皆さんの存在は私にとって大きな支えです。忙しい時も変わらぬ姿勢で業務に向き合ってください、どれほど励まされてきたか分かりません。この場をお借りし、あらためて深く御礼申し上げます。

今回の表彰は決して私一人の力によるものではなく、長きにわたりご指導、ご協力くださった皆さまのお力添えの賜物だと感じております。

これからも初心を忘れず、微力ではございますが、生協の一員として誠実に職務に向き合い努めてまいります。

今後とも変わらぬご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

「令和7年度大和川・石川クリーン作戦」 に参加しました

3月1日（日）、大和川水環境協議会主催の「大和川・石川クリーン作戦」が実施されました。これは、大和川・石川等流域において、河川美化や愛護の意識を高め、水質改善を図ることを目的として、平成8年度から住民、企業等と行政が連携して行ってきた河川清掃活動です。流域各地66会場で開催され、全体で毎年約1万人の参加があります。

OCoNoMi おおさか（大阪府協同組合・非営利協同セクター連携協議会）としても協賛しており、協賛品の提供や清掃活動への参加を行っています。

当日は晴れわたり汗ばむ陽気の中、OCoNoMi おおさか構成団体からは7団体15名が参加して、清掃活動を行いました。河川敷の道路沿いではタバコの吸い殻、川沿いではビニール袋等を回収し、少しでも河川の美化に協力することができました。また、大阪府農業協同組合中央会、大阪府漁業組合連合会、大阪労働者福祉協議会から協賛品（消しゴム、ティッシュ等）を参加者へお渡しする参加賞として、提供いただきました。

このような活動を継続することで、大和川・石川の水質改善や美化につながっていると感じました。今後も引き続き、参加を広げていきたいと思えます。



大阪市平野区 明治橋会場



柏原市 柏原市役所前会場



大阪市住吉区 吾彦大橋会場



堺市北区 JR 阪和線浅香駅東側会場

「ピースキャンドルナイト」を開催しました。

大阪よどがわ市民生活協同組合は「よりよき暮らしと平和のために」を掲げ、核兵器や戦争のない平和で暮らしやすい社会や地域づくりについての取り組みを行ってきました。過去にあった戦争を風化させないため、より多くの組合員や地域の方が気軽に参加しながら核兵器廃絶や平和について考えるきっかけになることを目指し、「ピースキャンドルナイト」を年に1回開催しています。

今回で15回目になる「ピースキャンドルナイト」は2月15日（日）16時から、茨木市文化・子育て複合施設『おにクル』にて開催しました。当日は400名を超える組合員や地域の方が参加されました。コンサートホールでは大学生や地元の少年少女合唱団などに平和をイメージした曲の演奏を披露していただき、茨木市からお借りした戦時中のパネルを展示するなど、地域との繋がりを活かした企画も実現できました。様々な企画を通して平和について改めて考えるきっかけになりました。

○参加者のアンケート

- ・「きれいなキャンドルが見れてうれしかった。」（10歳未満）
- ・「参加者も多く、平和について考えることができる良い企画だと思いました。来年も参加したいです。」（40代）
- ・「茨木市にも戦争の被災地があった事が知れて、世界の紛争が近くに感じられました。平和の尊さ、ありがたさに改めて感謝です。」（50代）

（大阪よどがわ市民生活協同組合 組織部統括 岡本 秀樹）



完成したピースキャンドルと役職員一同



戦時中のパネル展示などを行ったブース



マスコットキャラクター「よどまる」と記念撮影



茨木市少年少女合唱団が出演



CASA（地球環境市民会議）・自然エネルギー市民の会の出展ブース「環境おもちゃで遊ぼう！」

食のめぐみフェスティバルを開催しました！！

2026年2月28日（土）大阪市鶴見区のハナミズキホールで「食のめぐみフェスティバル」を開催しました。当日は、1,350人を超える組合員や地域のみなさまにご来場いただきました。始まる前からホールの外には長蛇の列ができました。2年ぶりの生協フェスタを心待ちにしていた方々です。感激しましたが、まだ肌寒い季節でもあり、お待たせしてしまい申し訳なくも思いました。

今回は来場者プレゼントとしてお米を用意しました。一昨年からのコメ騒動で十分にお届けできないことがありました。今年は十分に確保できたため、プレゼントにすることになりました。

模擬店ではリユース食器を使用し、焼きそばやカレーライス、フランクフルト、コロケなどを販売しました。開始から終了まで常に行列ができ、一時販売を停止する事態も起こりました。

販売ブースでは生産者と組合員の交流が生まれていました。日頃からひいきにしている商品の生産者と出会い、長く話し込む方も見られました。応対する生産者の表情もうれしそうでした。

司会が会場を一周し、生産者へのインタビューを行いました。個性的な方が多く、面白おかしく商品をアピールされていました。組合員活動も活発で、子ども向けのブースをいくつも展開していました。子どもたちが大はしゃぎする光景があちこちで見られ、とてもにぎやかで楽しそうでした。

コープ自然派の商品が当たる抽選会も大にぎわいでした。多くの方が抽選券を片手に集まり、当選番号が発表されると歓声があがっていました。

理事のブースでは沖縄研修『沖縄の歴史に学び 未来につなぐ平和への想い』の展示やOKシード、子ども笑顔基金の紹介を行いました。

さらに福祉ブースも設けました。コープ自然派の今後の福祉の取り組みを理解していただく第一歩になったと思います。お越しいただいた来場者からは「楽しかった、毎年開催してほしい」とうれしいお声をいただきました。

（生活協同組合コープ自然派おおさか 生協フェスタ実行委員 藤原康成）



販売ブースの様子



生産者へのインタビューの様子



抽選会の様子

サラダボウル

～ひとりひとりが輝いて～

ジェンダーフォーラムに参加して思うこと (職場と家庭と女性活躍)

おおさかパルコープ
理事会室 森 ゆう子

2年前からジェンダーフォーラムに参加させていただくようになり、意識が向いているためか、ここ数年、女性の力をもっと引き出そうという世の中の動きを感じます。

私は生協に転職する前、新卒で一般企業に就職しました。男女雇用機会均等法が施行されて数年後のことで、女性が結婚しても続けられる会社かどうかを優先して就職先を探しました。女性も『総合職』として仕事する事が今では当然ですが、当時は採用する側もされる側も手探りの感覚だった記憶があります。

それから35年、日本の社会も職場も大きく変わりました。女性の就業率は2000年の55.7%から2024年は74%に、給与はじめ待遇も正規雇用に限れば同等になり、メディアにもキレイドコロでなく専門家として出る女性が増え、今年も女性の首相も誕生。…性別より中身が大事ではありますが、女性の政治参画率が極端に低い日本としては画期的な事です。

様々な制度が充実し、女性が活躍できる社会的な条件は整ってきました。パルコープでいえば、男女で職種の制限や給与の差はなく、産休（復職率100%）、育休（男女とも）、時短勤務をはじめ、PJへの参加、研修などの機会もあります。職場で能力を認められている女性職員が多くいて、管理職の数も少しずつ増えてきました。こういう環境は本当にありがたいですし、数十年前から見ると大きな変化を感じます。

一方家庭では、自分自身や周りを見渡しても大きく変わった実感がありません。休日に友人と会っている時、女性は子どもの世話や親の介護、食事の準備があるからと早めに帰っていきます。ジェンダーフォーラムの会議で提供いただいた資料・情報から、夫婦共働きの家庭が増えても家庭内での労働は圧倒的に女性が多く担っていることがわかり（※）肌で感じていた感覚の裏付けを確認できた気がしました。

※内閣府男女共同参画局のデータによれば、男性の「家事・育児・介護時間」は、女性と比較すると1996年当時は約1割。2016年には約2割となったものの、依然として女性より圧倒的に低い。夫婦で見ると妻の「家事・育児・介護時間」は共働き世帯で4時間10～20分なのに対し、夫は（妻の就業状況に関係なく）40分前後。

このように、ジェンダーフォーラムで様々な情報に触れ、自分自身気づいたことがあります。2015年に女性活躍推進法が施行され、ここ数年で「女性活躍」という言葉がよく聞かれるようになりましたが、この言葉にずっと違和感がありました。もちろん活躍したいし、もっと女性の能力が活用されていいと思います。それを後押しするための言葉で女性にとってチャンスなのに、この違和感は何なのか？

社会や企業の中で女性が活躍できる環境が進んでも、家庭の中はほとんど変化がなく負荷は大きいままで、活躍したくても今以上の負荷を恐れて踏み出せない。そこが変わらない状態で使われる「女性活躍」という言葉を理不尽に感じていたのだと、違和感の正体を見つけることができました。家庭の中が変わるのは個人の努力に頼る部分も多く、難しく時間がかかることだと思います。過渡期にいる現在の女性たちが背負っている苦勞です。

ただ若い世代（20～30代）では、料理や子どもの世話など夫婦が同等に関わっていると感じることもあります。子どもを抱いて出勤するパパや、パパと子どもがスーパーに買い物に来ている姿も見かけます。先日は親戚の集まる場で、若いパパが食事の準備をしてママが子どもと遊んでいました。パルコプの職場でも、多くの男性職員が育児休暇を取得していますし、祝日保育制度を利用して子どもと一緒に出勤し、保育ルームに預けてから配送に行く男性職員も増えました。これから世代が移り変わり、家庭の中でも夫婦の働き方と意識が五分五分になった時に、本当に女性活躍が進むのではないかと期待しています。



ジェンダーフォーラム協議会主催にて開催された「アンコンシャス・バイアス学集会」の様子

スケジュール

3月

- 3日(火) なにわフードバンクしっかり食べや事務局会議
- 4日(水) 第1回生協大会実行委員会
- 4日(水) 日生協関西地連 MCA 無線訓練
- 4日(水) OCoNoMi おおさか第37回幹事会
- 5日(木) 第4回ジェンダーフォーラム協議会「アンコンシャス・バイアス学習会」
- 6日(金) 平和に関する学習会「ガザ地域での支援活動と現状」講演会
- 6日(金) 3月度 健康チャレンジ実行委員会
- 9日(月) 暮らしのクリエイティブフォーラム実行員委員会（振り返り）
- 11日(水) 日本生協連理事会
- 11日(水) 第2回文楽・コンサート実行委員会
- 11日(水) 日生協安否確認メール配信
- 13日(金) 第3回近畿地区生協府県連協議会（福井県）
- 16日(月) 会報発行
- 18日(水) なにわの消費者団体連絡会幹事会
- 18日(水) 消団連 デジタルPJ
- 18日(水) なにわフードバンクしっかり食べや 理事会
- 19日(木) 人事委員会
- 19日(木) 第5回理事会
- 25日(水) 第5回組織活動委員会
- 25日(水) 消費者支援機構関西（KC's）理事会
- 26日(木) 消団連 プラごみ学習会
- 27日(金) 「農」に親しむライフスタイル推進府民会議
- 31日(火) 関西地連第4回運営委員会・総会議案検討会議

4月

- 1日(水) なにわフードバンクしっかり食べや事務局会議
- 3日(金) 4月度 健康チャレンジ実行委員会
- 8日(水) 第3回文楽・コンサート実行委員会
- 9日(木) 能登半島地震被災地支援事務局会議
- 10日(金) OCoNoMi おおさか世話役会
- 10日(金) 消費者支援機構関西（KC's）常任理事会
- 15日(水) 第2回生協大会実行委員会
- 15日(水) 会報発行
- 23日(木) OCoNoMi おおさか第38回幹事会
- 24日(金) 消費者支援機構関西（KC's）理事会

5月

- 1日(金) 5月度 健康チャレンジ実行委員会
- 14日(木) 第6回理事会
- 15日(金) 消費者支援機構関西（KC's）常任理事会
- 20日(水) 第3回生協大会実行委員会
- 20日(水) 日生協理事会
- 27日(水) 第6回組織活動委員会
- 27日(水) 消費者支援機構関西（KC's）理事会

大阪府生協連 第65回通常総会 6月25日(木)